# セゾンエアコン　ワイヤレスキット据付説明書

# RCNL-T-35W, 35SB, 35C

PJA012D720

## お願い

・取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかたをご指導ください。
・エアコン本体およびパネルの据付方法につきましてはそれぞれに同梱してあります据付説明書をご覧ください。

## ① 対応パネル

自動昇降パネル取付時は、電源周波数の設定を本ワイヤレスキットの基板のＪ５で必ず行ってください。
・Ｊ5短絡：60Hz
・Ｊ5開放：50Hz
また、自動昇降パネルに取付時の降下長さの設定は、本体側コントロール基板上のSW9−1，２で行ってください。

| 室内基板 | SW9-1 | OFF | | ON | | 出荷時　ON |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | SW9-2 | OFF | ON | OFF | ON | 出荷時　OFF |
| 降下長さ(m) | | 1.3 | 1.6 | 2.0 | 4.0 | |
| 対応パネル | | ２m対応 | | | ４m対応 | |

## ② 付属品

次の付属品を確かめてください。

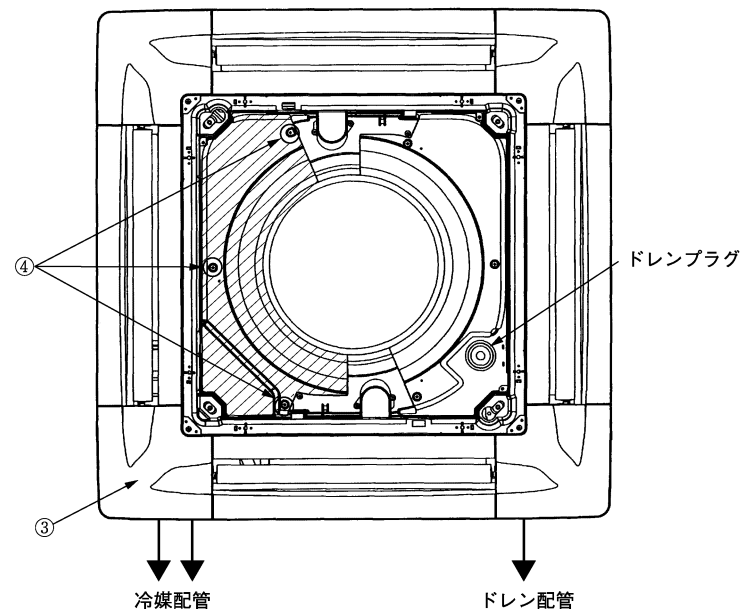
| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| 受 信 部 | | 1 |
| リモコン | | 1 |
| パーツセット | | 1 |

| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| リモコン用ホルダー | | 1 |
| 木ねじ | | 2 |
| 単４乾電池（R03） | | 2 |

## ③ 受信部の取付

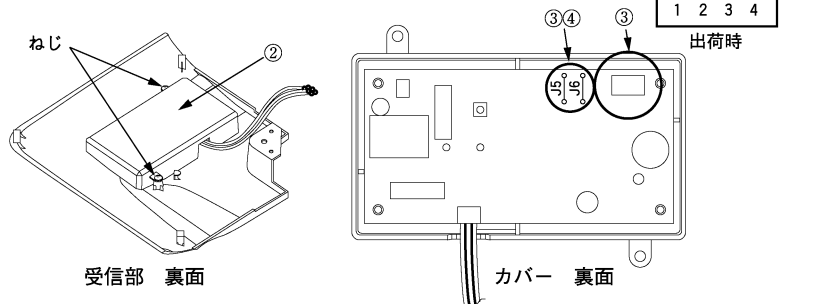
本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナパネルと交換することにより取付可能です。

### 取付前の準備

①化粧パネルを付属のパネル据付説明書に従ってエアコン本体に取付けてください。
②吸込グリルを取外してください。
③冷媒配管側のコーナパネルを取外してください。
④ねじ３本を外して、斜線部のエアコン本体のコントロールボックスのカバーを取外してください。

## 現地設定

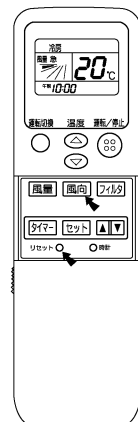
①受信部基板上のＳＷ及びジャンパー線の設定は以下の通りです。
なお、出荷時は全て**ＯＮ**又は**短絡**になっています。

| ＳＷ１ | 混信による<br>誤動作防止 | ON：通常<br>OFF：切換 |
|---|---|---|
| ＳＷ２ | 受信部の<br>親子切換 | ON：親<br>OFF：子 |
| ＳＷ３ | ブザー音の<br>有無 | ON：有り<br>OFF：無し |
| ＳＷ４ | 冷専／ヒーポン<br>切換 | ON：ヒーポン<br>OFF：冷専 |
| Ｊ５ | 電源周波数<br>設定 | 短絡：60Hz<br>開放：50Hz |
| Ｊ６ | 停電補償切換 | 短絡：無効<br>開放：有効 |

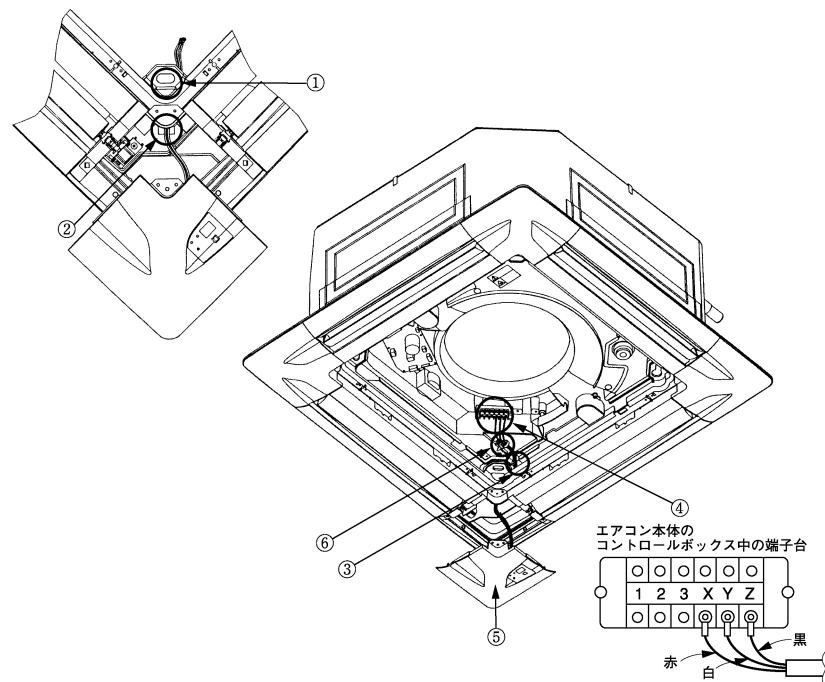
＜設定を変更する場合＞
②受信部裏面のねじ２本を外し、カバーを取外してください。
③カバー裏面の基板上のＳＷ又はジャンパー線を変更してください。

④自動昇降パネル取付時は、電源周波数に合わせて、必ずＪ５を切り換えてください。
出荷時は短絡（60Hz）になっています。本設定は、グリルの降下長を決定するために必要なものです。
⑤ＳＷ１をOFFにする場合はリモコン側も以下のように設定変更してください。

**ワイヤレスリモコンの設定変更**
風向ボタンを押しながらリセットボタンを押すか電池投入をすると設定が混信防止設定へ切り換わります。

※一度電池を取り外すと初期設定（工場出荷時設定）へ戻ります。
電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

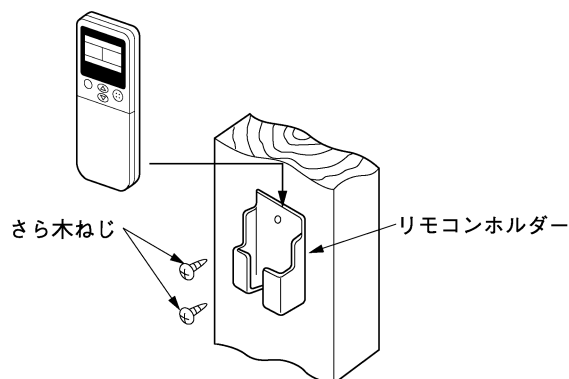
上記操作方法を必ずお客様に説明してください。
（操作方法はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります。）

## 受信部の取付

①パネル吊りボルトをゆるめて、パネルと本体との隙間を空けてください。
②受信部の配線を開口部に通してください。
③配線を現地側配線と一緒にエアコン本体に入れてください。
④配線先端をコントロールボックス中の端子台にＸ－赤、Ｙ－白、Ｚ－黒となるように接続してください。
⑤受信部をパネル据付説明書に従ってパネルに取付けてください。
⑥余った配線は現地側配線と一緒に結束してください。

※ご注意：取付の際、配線をはさまないようにしてください。

## ④ リモコン

### ワイヤレスリモコン（リモコンホルダー）の据付

**お願い** **次の位置は避けてください。**

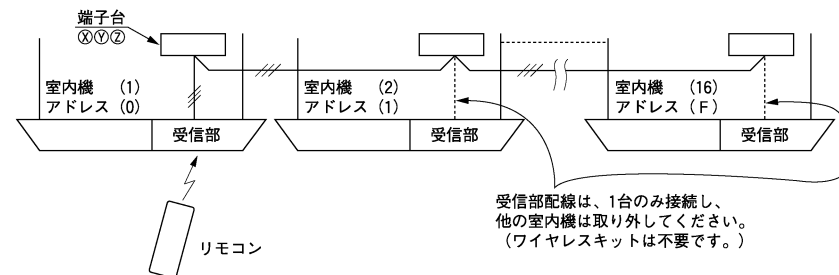
1）直射日光の当たる場所
2）発熱器具の近く
3）湿気の多い所・水のかかる所
4）取付面に凸凹がある所

**ホルダー取り付け時の注意**
・垂直になるよう、調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取り付けないでください。

### 1リモコンによる複数台室内ユニット制御

室内ユニット最大16台まで接続可能です。
①各室内ユニット間を３心の渡り線にて配線してください。
渡り線については下記を参照願います。
②受信部配線は、リモコンで操作する室内機１台のみ接続しておき、他の室内機は端子台ⓍⓎⓏから外すか、端子台～受信部間のコネクタCnB（３極、白色）を外してください。
③室内基板上のロータリースイッチＳＷ２により、リモコン通信アドレスを重複しないように「０」～「Ｆ」に設定してください。

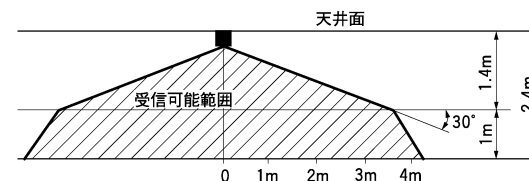
渡り線の太さと、長さの制限（最大総長600m）

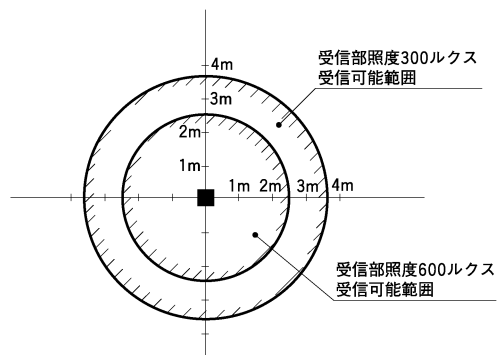
| | |
|---|---|
| 標　準 | 0.3 $mm^2$×100m以内 |
| | 0.5 $mm^2$×200m以内 |
| | 0.75$mm^2$×300m以内 |
| | 1.25$mm^2$×400m以内 |
| | 2$mm^2$×600m以内 |

注）コードは必ずシールド線を使用してください。
（推奨シールド線………MVVS<京阪電線>）
注）シールド線は必ず片側をアースしてください。

※ご注意：ワイヤレスツインで受信部を両方とも使用する場合、２つのパネルのいずれか一方のワイヤレスキット受信部の基板上のＳＷ２をＯＦＦにし、子とする必要があります。
（切り換えは、本説明書 **③受信部の取付** の **現地設定** をご覧ください。）

※ご注意：ワイヤレストリプルでは２つまでの受信部の使用が可能です。２つの受信部のいずれか一方は、ツインと同じく、子への切り換えが必要です。残りひとつの受信部は使用できませんので、コネクタは接続しないでください。
（コネクタを接続しない受信部のLEDの表示はできません。）

### ワイヤレスリモコンの操作距離

①標準的な受信距離
［条件］受信部照明度300ルクス
（一般事務所でPAC周辺１m以内の天井面に照明がない場合）

②平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

［条件］天井高さ2.4m、床面より１ｍの高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係。
照度が２倍になると受信距離は2／3となる。

③複数台近接設置時の注意

［条　　件］　受信部照明度300ルクス
（一般事務所でPAC周辺１ｍ以内の天井面に照明がない場合）

［複数台近接設置］後述条件にてリモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は５ｍです。

## ⑤ バックアップスイッチ操作

パネル表面受信部にバックアップスイッチ装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。操作は手で直接してください。

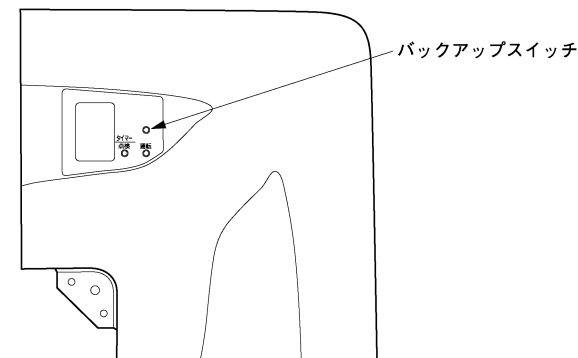
（１）停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
風量「急」　温度設定「23℃」　ルーバ「水平」

（２）運転中に押すことにより「停止」します。

（３）２秒以上押し続けてから離した場合、自動昇降パネル上昇となります。

## ⑥ 冷房試運転操作

●受信部バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコンにて冷房運転を送信してください。

●試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。

●試運転時、正常に動作しない場合は、室内・外ユニットに貼付けの結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

## ⑦ 2桁表示の見方

ワイヤレスキット受信部に２桁表示（７セグ）を装備しています。

（１）表示は電源投入後１時間表示します。

（２）ワイヤレスリモコン「停止」送信又は、バックアップスイッチ「停止」操作後３分間表示します。

（３）以上の表示は、運転開始により消灯します。

（４）異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。

（５）異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。

（６）異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコン「停止」送信によりクリアされます。